

子どもの知的創造をひろげる学校図書館をめざして

～図書館と連携した授業づくり～

岡山市立御南小学校

教諭 久富 明日香

教諭 石井 希久代

岡山市立御南小学校



全校生徒数 788人

各学年 4クラス

(5年生は3クラス)

支援学級 7クラス

図書的时间→週に1時間

中学校区の研究主題

「豊かなつながりを大切にして
学びをつくる子どもの育成」

本校の研究テーマ

「豊かなつながりの中で
自分の考えを広げたり深めたりする」



学校図書館で何ができるのか？

豊かなつながり

友だち・教師・司書との関わりを通して、様々な本に出会う。

自分の考えを広げたり深めたりする

様々な人との出会い・本との出会いを通して新しいことを知ったり，知ったことをまた友達に伝えることができる。

子どもの知的創造を広げる 学校図書館を目指して

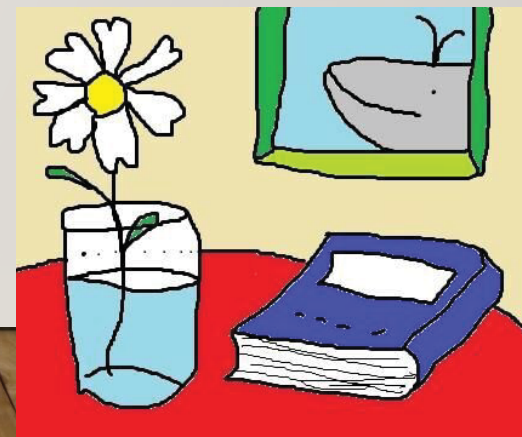
学習の場（学ぶ、考える、教える）

生活の場（読む、語り合う、憩う、集う）

探求の場（調べる、探す、作る）

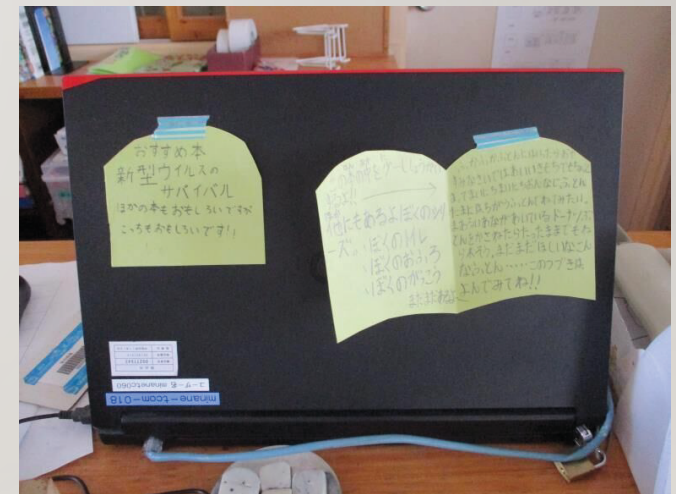
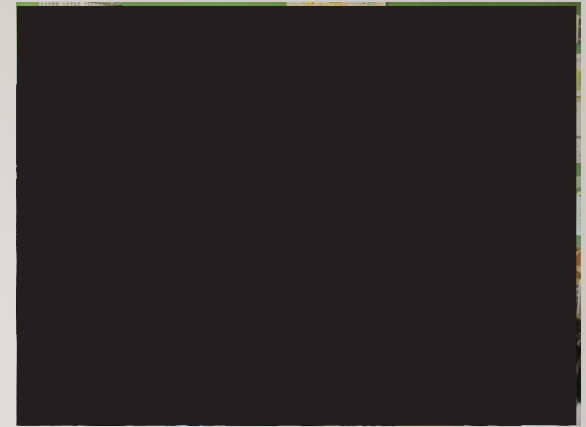


- ①委員会活動
- ②ききみみうさぎ（読書ボランティア）
- ③図書館はいろいろな学年の交流の場
- ④図書時間の活用
- ⑤実際の授業
- ⑥年間計画



①委員会活動

- ・低学年への読み聞かせ
- ・おすすめの本や新刊の紹介
- ・校内読書週間（10月）でのイベント（分類ビンゴ・しおりコンクールなど）
- ・本の福袋（1月）



② ききみみうさぎ

2005年の発足

保護者ボランティアによる読み聞かせ団体

豊かなつながり

地域の方とふれあい，様々な本に出会う

③図書館はいろいろな学年の交流の場



他学年の活動が見れる！

読んでみたい！
やってみたい！
調べてみたい！



④ 図書時間の活用

- ・ 授業の導入・授業の後に → 司書の読み聞かせや資料の紹介, ブックトークなど
- ・ 調べる時間 → 司書の専門的知識
- ・ 学習の場

豊かなつながり

自分の考えを広げたり深めたりする

⑤ 実際の授業

R3年度

第1学年

のりもののことをしらべよう「いろいろなふね」（東京書籍 1年下）

第5学年

説明の仕方を工夫を生かして、読み手にわかりやすいパンフレットをつくろう

「和の文化を受け継ぐー和菓子をさぐる」（東京書籍 5年）

R4年度

第1学年

「子どもをまもるどうぶつたち」（東京書籍 1年下）

実際の授業について

第1学年 「子どもをまもるどうぶつたち」 (東京書籍 1年下)

第三次

第二次

教師

本

- ・どんな動物で、どんな知恵を使うのかを読み取る。

- ・成島悦雄さんが伝えようとしていることを考え直す。

- ・どの動物について調べるか

- ・図書資料を読み、自分の選んだ動物の特徴や、どんな知恵を使うのかについて、情報を集め、まとめる。

- ・動物の知恵クイズをする。

- ・本の紹介をする。

第一次

人

- ・筆者の紹介をする。

- ・読み聞かせの本や題名、扉の文から予想する。

- ・単元全体のめあて・文章の構成を捉える。

友伝

司書

教師

授業準備

司書に相談

- ・ 筆者が関わっている本
- ・ 1年生の児童が読みやすい本
- ・ 導入で使う本
- ・ 三次で使う本（第二次で学んだ読み方が応用できそうな本）

ヤシマヤシマな
ちえをつかって
子どもをまもり
いのちをつなぐ

よしん



ちえ

オオアフリクイのおやは
ちえをつかいます。

こま


ロが
ほそながいので

オオアフリクイ

はこぶが
くわえて

せなかに
のせて
はこぶ

てきから子どもが
目立たなくなる




ライオン

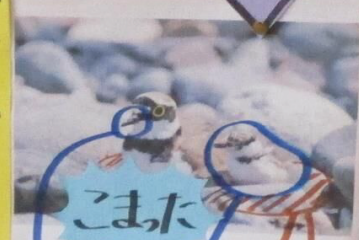
はこぶ
くわえて

とい

どうぶつたちは
どのような
ちえをつかい
てきから
子どもをまもるのでしょう。



そこの、コチドリのおやは
ちえをつかいます。



こま

コチドリ

すそじりの
じゅんじゅん

てきに
見つける。

はこぶが
くわえて

すからとおく
はなれる
けがを
したふり

ちえ

ちえをつかいます

はねを
ひろげ
よよ

早足
バサバサ

実際の授業について
第一次～第二次

ステップ1
考えることを
きめる



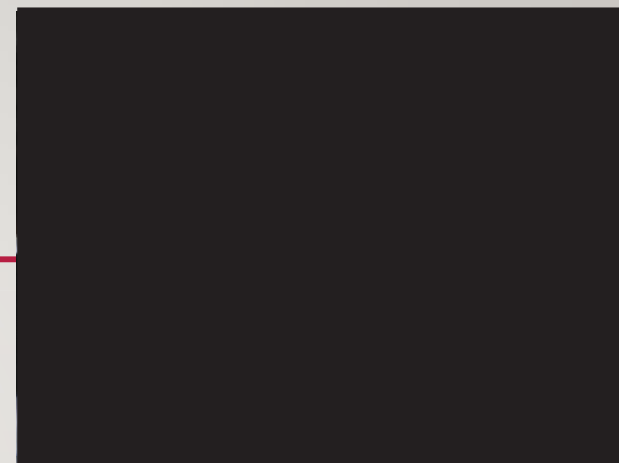
ステップ2
あつめる

ステップ76
かえる

実際の授業について 第三次

- 第二次までの読み方を活用して資料から動物が「困っていること」、動物の「知恵」を読み取った。
- 資料を作成する時、カラーの資料を人数分準備するのが、難しかった。

実際の授業について 第三次



- ・単元の最後に、資料から調べた事柄を活用して動物の知恵クイズを出し合った。
- ・自分のクラスや、異学年にクイズを出した。
- ・楽しみながら、自分が学んだことを伝える学習ができた。

授業後の取組

- ・ 司書が動物に関わる他の本を紹介することで動物の本を借りる児童が増えたり、自主勉強で調べてノートにまとめてくる児童がいた。



実際の授業について 振り返り

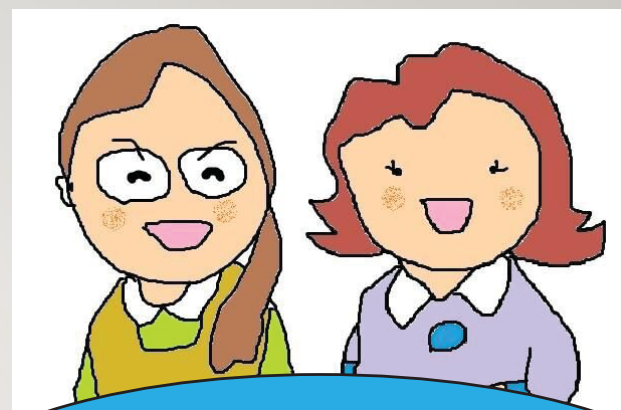
- 動物が子どもを守るために使う知恵に絞って図書資料を精選したことで、より焦点化した資料が提示でき、児童の思考の流れに沿うことができた。
- 図書の時間にも関係する図書資料を紹介することで、児童の興味が深まった。
- 児童が自力で読み取ることができる資料を選ぶことが難しい。

⑥年間計画

教師と司書が連携して取り組めるように，年間指導計画の作成。

利用指導	教科との関連	教科（単元）
オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none">・どんな本があるかな・花を育てよう	生「きれいにさいてね」
わからないことは きいてみよう	<ul style="list-style-type: none">・動物の本を読もう・どんな生き物がいるかな	国「どうやってみをまもるのかな」 生「なつが やってきた」
どんなおはなしの本 があるかな	<ul style="list-style-type: none">・世界の昔話を読もう・図書館の利用の仕方を知ろう・絵の具に興味をもつ	国「おおきなかぶ」 国「としよかんは どんどころ」 図「さわってかくのきもちいい！」

年度の終わりには各学年で検討・修正をし，次年度へ生かす。



連携

司書の専門性

教師の専門性

子どもの知的創造を広げる
学校図書館

学習の場（学ぶ，考える，教える）
生活の場（読む，語り合う，憩う，集う）
探求の場（調べる，探す，作る）

